

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 16 日

評価対象事業		評価者	学校施設課長 濱本 正行	
教育-20	重点事業	中学校施設整備事業	自治事務	主管課 学校施設課
	まち・ひと・しごと		法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	学校施設の整備

1 事業の目的

対象	市立中学校9校
意図	安全で良好な教育環境を確保するため。
効果	生徒たちが安全・安心な状態で教育を受けられる環境を整える。

2 平成28年度に実施した事業の概要

大船中学校改築工事及び工事監理を行った。
大船中学校校庭整備工事を28年度29年度の2箇年の継続事業として開始した。
大船中学校の改築に伴い、仮設校舎を賃借した。
第一中学校外1校の冷房設備設置工事設計を行った。
御成中学校外5校の冷房設備設置工事及び工事監理を行った。
第一中学校外7校の給食受入室改修工事を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口 177,243人 世 帯 数 80,676世帯 事業の対象者数 3,465人	176,869人 80,925世帯 3,504人	人 口 176,466人 世 帯 数 81,150世帯 事業の対象者数 3,416人		・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円) 国県支出金 171,543 地方債 1,578,200 その他 一般財源 242,402 人員配置数 1.6 人件費(千円) 11,995	2,327,364 511,921 1,275,100 540,343 1.7 12,699	当初予算(千円) 380,590 国県支出金 18,538 地方債 257,300 その他 一般財源 104,752 人員配置数 1.0 人件費(千円) 7,607		繰越明許 第一中・外1校冷暖房設備設置事業 腰越中特別支援学級教室改修事業 ・事業費 132,462千円 ・国県支出金 23,661千円 ・地方債 108,600千円
事業経費運営	総事業費(千円) 2,004,140 市民1人当りの経費(円) 11,307 対象者1人当りの経費(円) 578,395	2,340,063 13,230 405,172	総事業費(千円) 388,197 市民1人当りの経費(円) 2,200 対象者1人当りの経費(円) 113,641		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか 2. ない	関係・類似事業との統合はできないか 3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか 2. 増大している	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか 3. 十分な成果が出ている	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい 4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か △. 負担未導入	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか △. 協働未実施	協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直し内容 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 学校施設の老朽化の状況を調査し、今後の統合や再編を踏まえた改築や大規模改修等施設整備の検討を行う。
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☒ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 大船中学校改築工事が終了したことから、当面の予算規模の縮小は図れるが、大船中学校校庭整備工事のほかトイレ改修など老朽化が進む施設を維持管理していく上で必要な予算規模を維持していく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	学校施設及び設備の老朽化が進む中、限られた予算の範囲内で計画的に改修事業を実施しているが、以下の点について今後重点的に実施する必要がある。 教育環境の改善を図るため、トイレ等各改修工事を進める。 (中学校トイレ未改修:6校、8系統。小中学校で未改修19系統あり、毎年1系統の工事だと19年掛かる。) 中学校普通教室への冷房設備設置を行う。 学校施設の老朽化の状況を調査し、改築や大規模改修等施設整備の検討を図る。	

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	大船中学校改築工事を計画どおり実施し、平成28年度の2学期から供用開始できるようにしなければならない。普通教室への冷房設備設置を進めなければならない。玉縄中学校屋外非常階段改修工事が入札不調により実施できなかったの で、28年度に予算を繰り越し、実施する。老朽化の進む学校施設及び設備について、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全・延命化に努めなければならない。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	大船中学校改築工事を完了し、平成28年度2学期から供用開始できた。 御成中学校外5校の普通教室に冷房設備を設置し、平成28年度2学期から供用開始できた。 玉縄中学校屋外非常階段工事を行った。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	学校施設の老朽化の状況を調査し、改築や大規模改修等施設整備の検討を図らなければならない。 老朽化の進む学校施設及び設備について、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全・延命化に努めなければならない。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

[illegible]

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	近隣市では普通教室への冷房設備設置が順次進められており、児童の健康で安全な学習環境を構築するため、本市も計画的に事業を進めていきたい。
---------------------------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位	校	指標の傾向		備考
普通教室への冷房設備設置										
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
計画どおり平成29年度までに中学校全8校(改築した大船中を除く)の普通教室に冷房設備を設置する。	目標値			6	8					
	実績値			6						
	達成率			100.0%						

指標の内容	トイレ改修					単位	系統	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
6校8系統のトイレが未改修だが、31年度までにこのうち2系統の改修工事を行う。	目標値					1.0		2.0		
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方	普通教室への冷房設備設置については、計画どおりに事業を進めている。 トイレ改修工事については、改修の加速化を図って、小学校、中学校合せて毎年2校(2系統)ずつ工事ができるよう事業を計画している。	
--	--	--